

第2・3講座いずれも **ところ** 市民文化センター 大ホール
申し込み方法 電話、FAXまたは電子申請システムで氏名と電話番号をお知らせください。

第2講座 「がんばらない」けど「あきらめない」 ～命を支えるということ～

と き 6月29日(土) 午後2時～3時30分 (開場 午後1時30分)

講 師 鎌田 實さん (医師、作家)

申込期限 6月21日(金) ※手話通訳や車いすなどのお手伝いが必要な人は、6月14日(金)までに申し込みください。



▲申し込みはこちらから



「健康づくり運動」を実践し、長野県を長寿県へと牽引したことで著名な講師です。紛争や原発事故で病気になった子どもを救うための支援活動なども含め、医師として長年「命」と向き合ってきた経験を基に、命の尊さについてお話しします。

第3講座 お札で学ぶ日本の歴史 ～渋沢栄一・津田梅子・北里柴三郎の知られざる人物像～

と き 7月13日(土) 午後2時～3時30分 (開場 午後1時30分)

講 師 河合 敦さん (歴史作家、歴史研究家)

申込期限 7月5日(金) ※手話通訳や車いすなどのお手伝いが必要な人は、6月28日(金)までに申し込みください。



▲申し込みはこちらから



本市にゆかりのある渋沢栄一や北里柴三郎が肖像となる新紙幣が、7月3日に発行されます。それを記念して、メディアでもおなじみの講師が登場し、3人の人物像についてお話しします。子どもも学べる内容です。

6月23日～29日は「男女共同参画週間」今年のキャッチフレーズは“だれもがどれも選べる社会に”
 みんなで男女共同参画の輪を広げよう 男女共同参画市民情報誌ゆっパル特別版 問総務課 ☎0176-51-6702

移住者ではなく、十和田市民として今できること

2015年8月に十和田市に移住してきました、服部玄気と申します。市内で「げんき接骨院」という、ちょっと変わった接骨院を経営しています。

「げんき接骨院」は、患者さんの子どもや、自分と関わりのある子どもたちがのびのびと健やかに育つために、お母さん、お父さんが笑顔でいられる環境があったらいいなという思いから、約20畳のキッズスペースを中心に、美容室、カフェ、接骨院が隣接する複合施設となっています。ここでは、子どもや赤ちゃんと一緒に来院した人が、子どもたちの存在を感じながら安心して施術を受けることができます。

接骨院のほかに、地域交流の場をつくる活動にも挑戦しています。昨年は「十和田に子連れで楽しめる場所いくつある？場づくりを考えるワークショップ」や、町内会連合会との「親子レクで防災運動会」などを企画し、多くの方々と交流の機会を持つことができました。

今年は「職業体験村～子どものおしごと体験会～」を考えています。地域を支える仕事について、参加する子どもや来場者に知ってもらうことを目的に、市内の主要職業をイベント会場に集約し、子どもたちに体験してもらう某人気施設の十和田バージョンです。将来、居住地として十和田を選んで

もらえるように、仕事の選択肢の一つとして考えてもらえるように、まずは十和田を知ること、十和田に触れることが大切だと思います。

子どもたちが何かを選ぶときに、前を向いてチャレンジできるように、ここでの経験が役立つように、活動を通して今を楽しむ大人たちの本気の姿を見せたいです。

「なぜそこまでするのか？」と聞く人がいますが、私の活動の原動力となっているのは、自分と関わってくださる方々への恩返しへの気持ちです。私たち家族が今ここで生活できているのは、自分の施術を必要とくださる患者さんや、この地で仕事をすることを快く受け入れてくれていた地域の方々のおかげだからです。

子どもたちにとって楽しい思い出や環境をつくることで、大人になっても十和田で暮らしたいと思える街になることを期待しながら、今の自分にできることを精一杯やっていたいと思っています。

筆者紹介 はっとり げんき 服部 玄気さん

接骨院を経営しながら、地域や親子を中心としたさまざまなイベントを2017年ごろから企画している。町内会会長として地域づくりに精力的に活動中。

